

すべてを神に捧げる (やがて - ナビ) - フォーレスト

13, 14, 4 の合唱譜 - 活版

日本万国博「キリスト教館」

詩編唱和

神の名は

答唱

♩ = 54 くらい

高田三郎 曲

かみのなはあまねくせかいにかがやきそ

The first system of the musical score for 'The Name of God'. It features a vocal line and a piano accompaniment in 6/8 time. The vocal line has lyrics 'かみのなはあまねくせかいにかがやきそ'. There are handwritten annotations: '和' (Wa) under 'か' and '名' (Na) under 'な', and '天' (Ten) under 'せ'.

のえいこはてにそびえる

The second system of the musical score. The vocal line has lyrics 'のえいこはてにそびえる'. There are handwritten annotations: '栄' (Ei) under 'え', '天' (Ten) under 'て', and '天' (Ten) under 'に'.

The third system of the musical score, continuing the vocal and piano parts.

「神の名は」の詩編8(7)はこの紙を開いた右側に印刷されています。

詩編8(7)

1. あなたの指のわざである天を 仰ぎ あなたが造られた月と星とをながめて 思う
2. あなたは人を 神の使いに近いものとして 造り 栄えと誉れの冠を 授け

The musical score for Psalm 8(7). It includes two verses of lyrics and a piano accompaniment. The first verse is: '1. あなたの指のわざである天を 仰ぎ あなたが造られた月と星とをながめて 思う'. The second verse is: '2. あなたは人を 神の使いに近いものとして 造り 栄えと誉れの冠を 授け'.

なぜ人に心を 留め 人の子を 顧みられるのか
あなたが造られたもの を 治めさせ すべてをその知恵に ゆだねられ た

The second system of the musical score for Psalm 8(7), continuing the lyrics and piano accompaniment.

詩編唱和では、まず答唱を先唱隊が歌い会衆一同がくりかえします。そして、詩編の部分は先唱隊のみで歌い、一同は各節毎に答唱を歌い、答唱によって終わります。最初の答唱は先唱隊のかわりに、オルガンのみで演奏されてもよく、又最初から会衆一同によって歌い出されてもよいのです。この場合は、はじめの答唱はくりかえしの必要ありません。

詩編唱和 日本音楽著作権協会第451168号承認済



昭和45年6月15日 発行

発行 日本万国博「キリスト教館」中央委員会

栄光は世界におよび

答唱

♩=69くらい

高田三郎 曲

えい—こは せかいにおよ びす べてをこえ てか みはいだい 偉大

詩編57 (56)

1. 神よ、あわれみを わたしの上 に わたしは あなたのもとの が れ
2. わたしは ししの群れのな か 人を食いつくす獣のな か
3. 神よ、わたしの心は ひるむことな く あなたを たたえて歌 う
4. 神よ、民のあいだで あなたをたた え わたしは諸国で ほめ歌 う

翼の陰に身を ひそめ る 災いが すぎ去るま で
かれらのきばは やりのよう に 舌は剣(つるぎ)のよう に とがって い
目ざめよ、わたしの魂、めざめよ、立ご とともに あけぼのを 呼びさまそ う
あなたの恵みは 天地にあふ れ あなたのまことは雲に そびえ る

主はわれらの牧者

答唱

♩=72くらい

高田三郎 曲

主 は われらのほ く ーしや わ たしはとほしいこ と がない

詩編23 (22)

1. 主は わたしを緑の牧場に伏さ せ いこいの永ぎわに伴われ る
2. たとえ死の陰の谷を歩んで も わたしは わざわいを恐れな い
3. 主は はむかう人々の前で も わたしのために 会食を ととの え
4. 主の恵みと いつくしみ に 生涯伴わ れ

主は わたしの魂を生きかえら せ り み名のために正しい道に み ち び か れ る
主の むちが わたしとともに あ り 主のつえは わたしを ま も る
わたしの頭に油をそそ ぎ わたしの杯を 満 た さ れ る
わたしは とこしえ に 主の家に い き る

日本万国博「キリスト教館」

詩 編 唱 和

神 の 名 は

高田三郎 曲

答唱

♩. = 54 くらい

かみのなはあまねくせかいにかがやきそ

のえいこうーはてんにそびえる

「神の名は」の詩編8(7)はこの紙を開いた右側に印刷されています。

詩編8(7)

1. あなたの指のわざである天を 仰ぎ あなたが造られた月と星とをながめて 思う
2. あなたは人を 神の使いに近いものとして 造り 栄えと誉れの冠を 授け

なぜ 人に心を 留め 人の子を 顧みられるの かた
あなたが造られたもの を 治めさせ すべてをその知恵に ゆだねられ た

詩編唱和では、まず答唱を先唱隊が歌い会衆一同がくりかえします。そして、詩編の部分は先唱隊のみで歌い、一同は各節毎に答唱を歌い、答唱によって終わります。最初の答唱は先唱隊のかわりに、オルガンのみで演奏されてもよく、又最初から会衆一同によって歌い出されてもよいのです。この場合は、はじめの答唱はくりかえしの必要ありません。

詩 編 唱 和 日本音楽著作権協会第451168号承認済

昭和45年6月15日 発行

発行 日本万国博「キリスト教館」中央委員会

栄光は世界におよび

答唱

高田三郎 曲

♩=69 くらい

え い—こうは せ かいにおよ びす べてをこえ てか みはいだい

詩編57 (56)

1. 神よ、あわれみを わたしの上 に わたしは あなたのもとの が れ
2. わたしは ししの群れのな か 人を食いつくす獣のな か
3. 神よ、わたしの心は ひるむことな く あなたを たたえて歌 う
4. 神よ、民のあいだで あなたをたた え わたしは諸国で ほめ歌 う

翼の陰に身を ひそめ る 災いが すぎ去るま で
かれらのきばは やりのよう に 舌は剣(つるぎ)のよう に
目ざめよ、わたしの魂、めざめよ、立ご とともに あげほのを 呼びさまそ う
あなたの恵みは 天地にあふ れ あなたのまことは雲に そびえ る

主はわれらの牧者

答唱

高田三郎 曲

♩=72 くらい

主 は われらのぼ く —しや わ たしはとぼしいこ と がない

詩編23 (22)

1. 主は わたしを緑の牧場に伏さ せ いこいの水ぎわに伴われ る
2. たとえ死の陰の谷を歩んで も わたしは わざわいを恐れな い
3. 主は はむかう人々の前で も わたしのために 会食を ととの え
4. 主の恵みと いくしみ に 生涯伴わ れ

主は わたしの魂を生きかえら せ り み名のために正しい道に み ち び か れ る
主の むちが わたしとともに あ り 主のつえは わたしを ま も る
わたしの頭に油をそそ ぎ わたしの杯を 満 た さ れ る
わたしは とこしえ に 主の家に い き る